



健育会グループ60周年記念パーティ
60年の軌跡、そしてこれから

[ダイジェスト版]

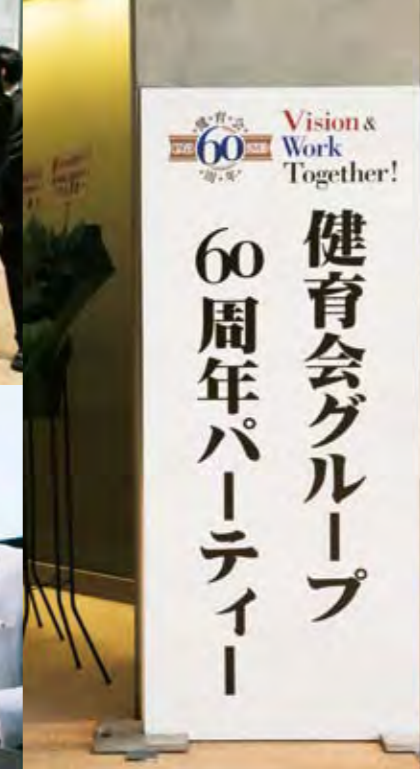
2013年5月18・19日 東京国際フォーラム



健育会グループ60周年を記念したパーティ「60年の軌跡、そしてこれから」を開催しました。

5月18・19日と、東京国際フォーラム（ホールD5・B5）において、健育会グループ60周年記念パーティ「60年の軌跡、そしてこれから」を開催し、2日間で各病院・施設から職員約300名と、ご来賓の方が集まりました。

ご来賓としては、1日目には歌舞伎役者の坂東三津五郎さん、2日目には文部科学大臣・衆議院議員の下村博文先生がお忙しい中ご臨席され、乾杯のご発声をしていただきました。また、パーティの総合プロデューサー/司会は、理事長と10年来のお付き合いのあるフリーアナウンサーの生島ヒロシさんをお願いしました。



竹川節男理事長 挨拶 (抜粋)

健育会グループ60周年を記念する会を多くの職員と祝うことができ大変感激致しています。

この日を迎えることができたのは、言うまでもなく創立者である竹川不二男、そして長きに渡り、共に支えてくれた職員の皆さんのお陰です。パーティに列席した300名はもちろん、病院・施設で働いているすべての皆さんにもこの感謝の思いを、私は直接伝えたいと思っています。私の父、竹川不二男が創立して60年間、本当にいろいろな方々に支えられて健育会グループは歩んでまいりま

した。私は、職員の皆さんに是非、この健育会グループの歴史を共有してもらいたいのと思っています。職員の皆さんが健育会グループの歴史を理解し、皆さんがいなかった時代の出来事も、あたかもその時自分が関わったかのように認識する、それが歴史観を共有することだと思っています。

私は、歴史観を共有している組織はピンチをチャンスに変えていける、ブレない強い組織だと考えています。そしてただ単に長い年月を経ているということだけでなく、

創立の精神を時代・環境の変化に合わせていく適応力が伝統であると思います。また今後、石川島記念病院の新築や石巻港湾病院の移転、介護施設の新規計画、初の民間による大学病院の運営等を計画しています。これらを成功させるためにもさらに強い結束力あるグループにならなければなりません。健育会グループ3000人の職員が歴史観を共有し、一つの和となり、その和をさらに大きくしていくことがこれからの私の役割です。



職員の皆さんに、この健育会グループの歴史を共有してもらいたい



ご来賓 坂東三津五郎さん(抜粋)

健育会が60周年ということですが、前の歌舞伎座が約60年の務めを終え、今年の3月に新しくオープンしました。60年の歴史を経て、私どもも新しいスタートを切ったところです。不思議なご縁を感じます。歌舞伎は、何百年という伝統がありますが、昔は録音も録画も出来ず、口移しで人から人へ伝えて参りましたが、歌舞伎には型があり、それを先輩たちが一生懸命つくってくれたからこそ、今、我々はそれを踏襲すれば舞台が出来ます。伝統を繋いでいくということは、先人達が達成した偉業の成果を受け継いでいくことですが、私は偉業の成果だけでなく先人達が努力してきた「想い」もつないでいきたいと思っております。先人達への感謝と尊敬の念を持ちながら、それを学び、そしてできれば、それを超えていく創意工夫をつくっていきたく毎日舞台上に立っております。

そういった意味で、健育会60周年にあたりまして、ここまで育ててくださった方々に思いを馳せながら、さらにそれを上回る新しい創意工夫を持って、これから70年、80年と発展していかれることを祈念いたしまして、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。



歌舞伎役者の坂東三津五郎さん



健育会
1953 60 2013
周年
Vision & Work Together!

ご来賓 下村博文大臣(抜粋)

竹川理事長を中心に職員の方が、本当に患者さんのために頑張っている。そういった情熱や想いに先代の意思がきちんと継承されているということを感じました。私の予言を申し上げたいと思います。これからの10年20年は、今までの60年の健育会の成長・発展とは比較にならないくらい発展をされると思います。それは竹川理事長の経営センス、先を見るビジョンだけでなく、時代がそういう時代になって参りました。60年前の先代理事長の先見の明の時代が、60年後にこれからやって参ります。

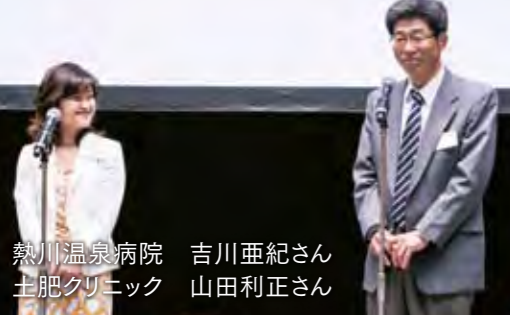
日本は世界でトップの平均寿命の国ですが、私は平均寿命と健康寿命が重なる、そして国民が最後の最後まで元気に生き生きと暮らせるような、そういう健康医療をバックアップしていきたいと思います。まさに健育会が60年前に発想されたことに時代が追い付いてきたということだと思います。前述のとおり、これから10年20年の中で、健育会は、これまでの60年の軌跡以上の大きな発展があると思います。それは国民、そして世界が望んでいることでもありますし、アベノミクスの三本の矢はまさにそういう分野で発揮することによって、真の日本の再生・発展があるのではないかと考えております。

文部科学大臣・衆議院議員の下村博文先生



中締め

健育会グループの病院・施設に長く勤めている職員に代表してメッセージをもらったあと、「Vision & Work Together!」のかけ声を発してもらい、出席者全員で集合写真を撮りました。



熱川温泉病院 吉川亜紀さん
土肥クリニック 山田利正さん

健育会グループ 60周年パーティー
「60年の軌跡、そしてこれから」



ライフケアガーデン熱川 梅原春美さん
熱川温泉病院 内山一彦さん





Together We Walk (共に歩こう!)

60周年を記念して「健育会グループの曲」を葉加瀬太郎さんに作曲して頂きました。60周年のスローガン「Vision & Work Together!」をモチーフにした曲で、「Together We Walk」(共に歩こう!)というタイトルの曲です。パーティの後半には、当日行われるコンサート「live image 13」のリハーサルでお忙しい中、葉加瀬さんがサプライズで顔を出されて、曲作成のエピソード等をお話してくださいました。この「Together We Walk」が、職員、患者さん・ご利用者はじめ多くの方々に感動と共感を与え、またいっそうグループの結束力を高めてくれることでしょう。

🎤 葉加瀬太郎さん

僕は作曲する時、必ずトップの方とお話をさせて頂いているんです。その感覚で曲を書きます。ですから、この曲は、理事長の気持ちが僕に宿って、浮かんだメロディが曲になっただけだと思います。理事長が「Together」という言葉をとても大事にしたいということだったので、そのことばかり考えて、タイトルも「Together We Walk」としました。グループが一緒になって頑張っていく。そういった気持ちで書かせて頂き、自分自身でもとても好きな曲ができました。



ヴァイオリニストの葉加瀬太郎さん



医療法人 健育会 60周年記念 presents

live image 13

emotional & relaxing

ライブイメージ13では、恒例の健育会ブースを開設しました。健育会グループと私たちが積極的に音楽療法について取り組んでいることをお知らせする他、血圧を測ったり、健康相談ができるコーナーを設ける等、会場に集まった皆さんが健康への意識を高めて頂く取り組みを実施しました。また、パーティにお集まり頂いた皆さんにライブイメージのコンサートを鑑賞して頂きました。今回の葉加瀬太郎さん登場の記念すべき1曲目は、葉加瀬さんとイメージオーケストラによる健育会60周年記念曲「Together We Walk」でした。

